

平成 28 年度 学校自己評価システムシート（山村国際高等学校）

本年度努力目標	<p>1 学習指導においては、基礎・基本の徹底を図るとともに、応用力の育成に努める。</p> <p>2 進路指導においては、一人ひとりの進路に応じた適切な指導と、自己理解に向けた支援に努め、進路実現に努める。</p> <p>3 生徒指導においては、基本的生活習慣の確立に努めるとともに、自他を尊重する寛容と協力の精神の育成に努める。</p>
---------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	おおむね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※第三者評価実施日とは、最終回の第三者委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	第三者委員	4	名
-----	-------	---	---

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	○基礎学力の不足は常態的課題である。その克服のためにも、まず「授業」にどう向きあうかを考えねばならない。	学習指導	○一時間一時間の授業に真摯に臨む姿勢を身に付けさせる為の工夫・研究を重ねる。 ○「わかる」ということの内実を充実させる。	○生徒の私語・居眠りは減り、前向きに授業に取り組む姿勢が窺えるか。 ○「わかる」ことが達成されたか。	私語・居眠りは完全にはなくなっていないが、授業内容に対する不満は減少している。	B	生徒にいかにして授業に参加させるか。そのためアクティブラーニングなども積極的に取り入れていく必要がある。
2	○教室環境を整え、生徒一人ひとりが協同してクラス作りに参加する自発性を養成することに努める。	学級経営	○一人ひとりの役割とその責任を意識づける。 ○他者を常に自己の指標とする協同性を身につけさせる。	○教室は常に整頓されているか。 ○クラスの友人関係は良好か。 ○役割は責任をもって果たされたか。	達成度に若干のクラス間格差が残っているものの、昨年度より良い状況になっている。	B	昨年度に比べれば、改善されているが、クラス間・学年間の差が生じないように更なる情報の共有と交換を行う必要がある。
3	○基本的生活習慣の確立 ○公平・公正な視点からルールの遵守について身につけさせねばならない。 ○保護者との協力	生徒指導	○あいさつ、遅刻および他を思いやる心、言葉づかいの指導を図る。 ○保護者との連携を密にし、しっかりと協力する。	○基本的生活習慣は身についたか。 ○保護者の理解を得た指導が行われたか。	全体的にかなり改善され、服装の乱れも少なくなっている。保護者との連携も概ねとれているようである。	B	服装指導はかなり浸透してきたようであるが、少しでも気を緩めるとすぐに元に戻ってしまう可能性がある。今のまま継続して指導していくことが必要である。
4	○目的を明確にし、自己の将来設計をしっかり考えさせる。 ○一人ひとりに懇切に接し進路実現に向けた。	進路指導	○的確な進路指導の充実。 ○一人ひとりの適性を見極め、指導することで個々の意識を明確にする。 ○数値目標の設定。	○生徒一人ひとりが自己の進路についてしっかり考えることができたか。 ○数値目標は達成できたか。	進路結果からも、十分に目標を達成できた。	B	現状に満足せず、時代に合わせた新たな取り組みを更に入れていくことが重要である。
5	○すべての生徒が行事や部活動に積極的に参加するよう全体で取り組み、学校力の活性化をはかる。	学校生活	○すべての生徒が協同して行事・部活動に参加できるように的確な指導を行う。 ○部活動の活性化と充実した成果をめざして指導する。	○生徒は積極的に行事や部活に参加したか。 ○部活動は充実した成果をあげることができたか。	行事や部活動も生徒は積極的に参加しており、活性化はしている。大会成績も現状を考えれば、十分な結果が得られていると思われる。	A	部活動によっては、顧問・コーチ等が不足し、十分な指導が行えない部活動も存在している。そのような部活動には人的な対応も考える必要がある。

第 三 者 評 価	
実施日 平成 29 年 3 月 1 2 日	
第三者委員からの意見・要望等	評価
授業を妨害するような私語はだいぶ減っているようである。また居眠りも授業見学をした限りでは、昨年より少なくなっているようである。更なる工夫をお願いしたい。	A
先生方の努力が結果として現れたのではない。現状に満足することなく、是非継続して欲しい。	B
校外で見かける山国生の雰囲気も変わってきたように感じる。粘り強く続けていくことと、生徒指導は学校だけでなく、家庭の協力をもっと求めても良いのではないかな。	A
合格校・大学進学率共に最も良い結果であり、生徒の満足度も上がっている。今年度は特に問題ないのではないかな。来年度も続けてがんばって欲しい。	A
部活動は、どの部活も良い結果を残しており、生徒にも活気が見られる。体育祭や文化祭も活気があって良かったと思う。	A